



くらしの相談 担当者レポート No 3 2

よしの ひで くに



吉野 英国

令和 4 年 8 月 2 3 日に
2 1 のカテゴリーで 3 2 項目の
要望をしました。

行政への要望活動

会派で提出した政策要望に対し市長からの回答を頂きました。(令和 5 年 1 月 3 1 日)

<主な要望と回答(私が検討し要望項目)>

1、学校教育における ICT 活用の更なる充実

要望：①タブレットの有効活用に向けた体制の構築

回答：教員の I C T 活用の状況を踏まえ退職教員を活用した I C T 支援も視野に入れながら、
最適な支援体制を考え構築していく。

2、保育の質的向上への取組

要望：①保育ドキュメンテーションの有効活用

回答：活用マニュアルの作成、必要に応じて保育士が相談できる体制の構築を行う。また、好事例を委員会にて共有し、必要に応じて全園に展開するなど、全体のスキルアップを図っていく。

3、大規模イベントを生かしたまちづくり

要望：①持続可能な W R C 運営に向けた取組

回答：タイトルスポンサーや競技コースへのネーミングライツなどの企業協賛の獲得、チケットやグッズ販売による収益の確保などを図るとともに、国の交付金や企業版ふるさと納税などの制度を活用していく。

4、子どもの権利を守る取組

要望：①ヤングケアラーの早期発見に向けた取組

回答：市内小中高校の教職員や支援機関向けの研修の実施やアセスメントシートを作成し活用し、早期発見や支援につなげていく。また、子どもの権利学習プログラムや生涯学習出前講座等でヤングケアラーについて啓発することで、子どもや子どもの周りの大人が声を上げやすい環境を作っていく。

私達の要望に対して前向
きな回答を頂きました。



市長より政策要望に対する回答説明の様子



令和5年度市の取り組み紹介

こども・若者支援

①自分らしさ支援事業

- ・全ての児童生徒を支援するため、スクールソーシャルワーカーの増員や心の相談員を全校に配置、また、新たに事業を総括し、推進するためのアドバイザーを青少年相談センターに配置。

②産前産後の子育て家庭の支援

- ・多胎妊産婦に対し教室の開催や多胎児親の会の活動を支援。また、多子世帯を対象に、産前産後へのヘルパーの利用可能年齢を1歳から3歳までに拡大

③「学び・体験」施設の市内こども料金の無料化

- ・本市への愛着心を育んでもらうため、市内在住又は在学する高校生以下の子どもの個人料金を無料化する。



カーボンニュートラルの推進

①家庭用 LED 照明の普及促進

- ・省エネ効率が高い家電製品への買い替えを促進するため、家庭用照明を LED に買い替えた場合の費用を補助。

②次世代自動車の普及促進

- ・引き続きプラグインハイブリッド車や電気自動車などの購入に対して補助。補助額の上限を引き上げる。



デジタル化の加速

①公共施設のキャッシュレス化の拡充

- ・キャッシュレス決済機器の導入を継続し、今年度は交流館や体育館を中心に対応施設を拡充する。

②LINE による申請、予約機能等の活用

- ・社会インフラとして浸透している LINE を活用した申請、予約機能等を導入する。



くらしの相談事例

交通安全



浄水小学校の通学路において、朝の時間帯に強引に右左折する車があり、横断歩道を渡っている子どもが引かれそうで、大変危険である。

<私の対応>

- ①市役所に該当の交差点の事故防止の対策依頼が出ていないか確認。

結果：対策依頼は出ていない。

- ②浄水小学校の教頭先生に、該当の交差点の危険な状況の認識確認と今後の対応を相談。

結果：小学校の交通安全推進協議会より、市へ対策依頼を提出する。

今後は、市と警察や地域で安全対策の検討をして頂きます。

私の活動

二十歳のつどい（成人式）での挨拶



幼稚園卒園式での挨拶



区長会での市政報告



本社工場東門でのあいさつ活動

